

令和4年度 第1回福井市行政改革推進委員会 会議結果

- 1 開催日時 令和4年6月2日(木) 10:00~11:20
- 2 開催場所 市役所本館8階 第1委員会室
- 3 出席者
- (1) 委員 井上 武史 委員(リモート出席)、奥村 清治 委員、春日野 道治 委員、小林 嘉代子 委員、竹内 直人 委員、竹川 充 委員(リモート出席)、田村 洋子 委員、前田 聡一郎 委員、三寺 潤 委員 (谷内 由美子委員は欠席)
- (2) 事務局 総合政策課、財政課、DX 推進室

4 会議次第

- 1 開会(市民憲章唱和)
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - (1) 委員長及び副委員長の選出について
 - (2) 令和3年度 第2回財政健全化専門部会の会議結果について
 - (3) 「福井市行財政改革指針(平成29~令和3年度)」
令和3年度の実績結果及び5年間の総括について
 - (4) 「福井市行財政改革指針(令和4~8年度)」令和4年度の実績計画について
 - (5) その他
 - ・令和4年度 行政改革推進委員会開催予定
- 4 閉会

5 議事の概要

事務局	(1) 委員長及び副委員長の選出について 議事(1) 委員長及び副委員長の選出について、「福井市行政改革推進委員会規則」第4条2項の規定により、委員長及び副委員長は、委員が互選することになっているので、協議をお願いしたい。
委員	事務局の方に案があるのなら示してもらった方が良いのではないかと。 (「意義なし」との声あり)
事務局	事務局案としては、委員長に三寺 潤委員、副委員長に田村 洋子委員をお願いしたい。 (「異議なし」との声あり。事務局案のとおり委員同意を得て、それぞれ委員長、副委員長席へ移動)
事務局	福井市行政改革推進委員会についての概要を事務局より説明する。

事務局	<p>【資料1に基づき説明】</p> <p>本委員会の内部組織として、別途「財政健全化専門部会」を設けており、本市の適正な財政運営について、評価・ご意見をいただいている。「財政健全化専門部会」の委員は、規則第6条第2項により、委員長が指名することになっているため、委員長から、5名指名をいただきたい。</p>
委員長	<p>令和4年度から5年度の財政健全化専門部会委員として、私 三寺と名簿順に井上委員、奥村委員、竹内委員及び田村副委員長にお願いしたいと思う。</p> <p>(「異議なし」との声あり)</p>
事務局	<p>それでは、議事(2)に移る。規則第5条の規定により、委員長が議長となり議事を進行することとなっているので、以降の議事進行は委員長にお願いする。</p>
委員長	<p>(2) 令和3年度 第2回財政健全化専門部会の会議結果について</p> <p>それでは、議事(2)令和3年度 第2回財政健全化専門部会の会議結果について、事務局から説明を。</p>
委員長	<p>【資料2-1、2-2に基づき説明】</p> <p>ただいまの報告に対し、質問等はないか。</p>
委員	<p>財政計画で総合計画に歯止めをかけることは、難しい問題もあることは承知だが、これまでの取組で未達があるということは、公債費の抑制と事業費の抑制がうまくいっていないということ。つまり総合計画によって財政計画が達成されていないということである。</p> <p>総合計画と財政計画の関係を整理し、主要事業は必ず盛り込むことや、一般財源で使えないものなどを示して、歯止めをかけていかなければ、この先も難しいのではないかと考える。その点を確認したい。</p>
事務局	<p>まず、総合計画と実施計画、財政計画の関係について、実施計画は総合計画の行動計画で、それに伴う財政面を取りまとめたものが福井市財政計画である。</p> <p>財政計画の目標は大きく2つ、</p> <p>①歳入に見合った歳出予算を組んでいくという、収支均衡した財政構造の計画であること</p> <p>②令和3年度末で約28億円ある財政調整基金残高を、令和8年度末までに50億円以上に積み増しすること</p> <p>総合計画実施計画の中で反映されていない不確定な事業や小さい事業があるが、それらの財源のうちハード整備は市債を使う。ご指摘の市債残高が増えることに関しては、交付税措置のある市債を活用することで、負担を少なくしていきたいと考えている。</p> <p>財政健全化は進めていかねばならないが、市民生活に密着した事業は進めてまいりたい。</p>
委員	<p>財政計画と総合計画がリンクすることで総合計画にとっても良い影響があるので、難しい</p>

事務局	<p>と思うが頑張ってほしい。</p> <p>もう一つ、歳入の見込みについて懸念点がある。平成18年から令和2年までの福井市の税収の伸びをみると、平成19年に所得税から地方税に税源移譲があり、伸びているが、それがピークである。その中で、市税が計画期間中に約10%伸びることを試算している根拠は何か。</p> <p>地域経済の伸び率を試算に使う方が良いのではないか。足下の人口減と高齢化をふまえた見積もりが大事かと思うため意見を聞きたい。</p> <p>財政計画における市税収入については、内閣府が示す中長期の経済財政に関する資産及び福井市の生産年齢の減少などを見込んで推計している。</p> <p>令和3年度の市税については、令和4年4月末の調定額でみると、前年度比約6億円で、1.4%程度増えている。これは、個人住民税の増加などによるもの。</p> <p>先月30日、北陸財務局が発表した北陸経済調査では、北陸の経済はゆるやかに持ち直している。先行きについては、原材料価格の増加などにより、下振れリスクに十分注意する必要があるということで、今後の動向を注視する必要がある。</p> <p>下振れリスクに対応するために、6月補正予算案では、国の臨時交付金を活用して、原油価格・物価高騰に対応した事業を計上している。</p> <p>具体的には、中小企業者の融資借換えのための支援事業や給食費を値上げすることなく給食の質を保つといった学校給食材料費高騰対策事業などを計上している。こうした対策を行うことにより、税収が落ち込まないようにしてまいりたい。</p>
委員長	<p>自身の手元のデータでみると、2019年と2020年の比較をみても減少傾向である。俯瞰することが大事。推計はかなり先のことなので、直近の状況も注視しながら議論できると良い。</p>
委員長	<p>(3)「福井市行財政改革指針(平成29~令和3年度)」令和3年度の取組結果及び5年間の総括について</p>
事務局	<p>それでは、(3)平成29から令和3年度を計画期間としていた「福井市行財政改革指針」より、令和3年度の取組結果及び5年間の総括について事務局から説明を。</p>
事務局	<p>【資料3-1、3-2、3-3に基づき説明】</p>
委員長	<p>ただいまの報告に対し、質問等はないか。</p>
委員長	<p>1点補足すると、「資料3-3」の3枚目、総括一覧表について、平成29年から令和2年までと令和3年度では、少し細かく分類しようということで新たに「薄曇り」という指標が加わったので、そこは注視する必要がある。</p>
委員	<p>ふるさと納税について、当初の目標は寄付額がかなり高く設定されている。今後は、寄付件数を多くする目標になっていく感じがする。福井市におけるふるさと納税の戦略の細かいところを教えていただきたい。</p>

事務局	<p>ふるさと納税の本来の趣旨である、ふるさとを愛し、応援してくれる人を増やしていこうとする基本方針は一貫して変わっていない。</p> <p>ふるさと納税については、人気の返礼品であるカニの価格がここ2年程高騰しており、高額な納税による返礼を求めるよりは、少額の寄付が増加していることが、件数が増えているものの、寄付額が伸び悩む原因である、と担当課では分析している。</p> <p>福井を好きになってくれる人を増やすことで、寄付額が増えていくという思いのもと、ふるさと納税ポータルサイトにおける特集ページの掲載や返礼品を充実させてしっかりと推進していきたいという思いである。</p>
委員	<p>「資料3-3」の1枚目に5年間における取組結果の達成度が示されている。年度により、達成度にばらつきがあるのはなぜか。また、達成する KPI はどのように決めているのか。</p>
事務局	<p>まず、KPI の設定については、本行政改革推進委員会にて設定の了承をいただいたもの。また、取組を進める中で、実績が上振れした場合は、上方修正してきた。</p> <p>達成度のばらつきについて、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、外部点検等の事業が中止になったため、達成率が低い結果となった。</p>
委員	<p>感想としてだが、お金の支出を絞ることが市の目標であると思うが、広告収入や寄付者に目標をつけることは、相手がいることなので大変だと思う。</p>
委員長	<p>毎年の進捗管理をしっかりと、情勢をふまえて見直したなどの補足説明があると良いかと思う。</p>
委員長	<p>(4) 「福井市行財政改革指針(令和4~8年度)」令和4年度の取組計画について それでは、(4) 令和4年から令和8年度を計画期間とする「福井市行財政改革指針」に基づく令和4年度の取組計画について事務局から説明を。</p>
事務局	<p>【資料4-1、4-2、4-3に基づき説明】</p>
委員長	<p>ただいまの報告に対し、質問等はないか。</p>
委員	<p>行政手続きのオンライン化やワンストップ化に取り組む中で、システムを導入するだけではなく、行政のサービスをどのようなかたちで提供するかが重要になる。俯瞰で見る手段として「サービスデザイン」という考え方がある。新たな取組にはサービスデザイン的な視点を意識して取り組むこととされているのかをうかがいたい。</p>
事務局	<p>福井市では、昨年度「DX 推進計画」を策定し、DX を進める中で手続きのオンライン化や RPA を導入して事務の効率化、市民サービスの向上を図ろうと取り組んでいる。その中で、ご指摘のとおり単純にデジタル技術を用いるだけでなく、デジタル技術を活用して事務を変革するという DX の考え方を市内に普及し、事務見直しや市民サービスの向上、職員の働き方改革につながる取組を進めていきたい。</p>

委員長	「サービスデザイン」という言葉に馴染みのない方もいらっしゃるかと思うので、委員より説明いただきたい。
委員	<p>「デザイン」という言葉は、きれいなものを作るとイメージされる方が多いと思うが、「設計的な意味合いで使い、「サービス」に加えて、市民がサービスを利用する際の体験を設計しようとするもの。</p> <p>対象範囲は、市民がサービスを利用する所や直接窓口を担当する職員のみではなく、裏で関係課と横の連携をどのように図るかなど全体的に考えることを「サービスデザイン」という。</p>
委員長	<p>俯瞰することを取り入れながら、横のつながりをどうみせていけるかがデザインということ。サービスそのものだけでなく、行政も利用する市民も含めて対象者になるということである。</p> <p>このあたりがわかりやすく見えてくると、様々な指摘ができると思うがいかがか。</p>
事務局	<p>いただいたお話は、職員に周知し、取り組んでいく。</p> <p>昨日、時間外に有志の若手職員で福井県庁のデザイン的な業務変革に取り組む職員を講師に迎え、30名程度の職員が参加して、勉強会を開催した。こういったところを通じて進めてまいりたい。</p>
委員長	他に質問等のある方はどうぞ。
委員	これからは、情報の共有化を紙中心の管理体制から変えていこうとしている。福井市の各種団体や地域で、こういったことを勉強し、取り組みたい時には、どこの部署が担当するのか、または、いくつかの部署が協力してシステムのオンライン化について指導するのかをお聞きしたい。
事務局	市全体として DX 化に取り組むことを進めている。例えば、地域のデジタル化というと、まち未来創造課、農業のデジタル化やスマート農業というと、農政企画課が担当しているが、DX 推進室が横串をさして調整を図り、全体的な市民サービスの向上につなげていきたい。
委員	DX の取組を進めていくと、各種団体の担当課の職員では、本業が異なるためわからないことも出てくると思う。中心となってやってもらう部署があってもよいのではないかと思うがいかがか。
事務局	<p>今年度、DX を進めるために市役所内に DX 推進体制を組んでいる。入り口としては、団体の担当課になるが、そこから課題として吸い上げたものを体制の中で、全庁的な課題として整理をしていくという流れになっていくと思っている。</p> <p>補足すると、今年度からの DX 推進体制としては、副市長を委員長とした「DX 推進委員会」を設けており、その中で「DX 推進リーダー」という若手の職員が様々なことを検討する機会を設けている。この中で課題を検討していきたいと考えている。</p>

委員長	<p>こういった話題や窓口が地域に伝達されていくことも大事で、市民サービスに直結することだと思うので、ぜひ通達していただきたい。</p> <p>その他に何か質問等のある方はどうぞ。</p>
委員	<p>全庁的な DX 推進の中で、リスク管理はどうしているのか。</p>
事務局	<p>行財政改革指針の中でも情報セキュリティ対策の取組を掲げている。現在もセキュリティポリシーの運用をしている。今後も研修等を通じて情報セキュリティ強化に努めていきたい。</p>
委員	<p>仕組が必要だと思う。例えば、個人情報に係るデータを外部に送る場合は、課長や DX 推進員がダブルチェックをして送るなど、体系的な対応があると良いのではないかと思う。</p>
委員長	<p>推進委員会にて検討いただいて、また組織がどうなっているかを説明していただければと思う。</p>
委員	<p>先ほどの令和3年度までの報告の中で「未達」とあった「広告収入」に関してだが、行政サービスの一環として収入を得ていくということであれば、広告主は民間企業になると思うので、民間企業の入り口として、産業行政の部署や商工会議所等と連携してはいかがか。</p>
事務局	<p>福祉やスポーツの分野など、業種別に様々な業者の方がいる。そのため、それぞれの担当部署に、冊子やチラシ、広報誌など、広告掲載の推進について、働きかけているところ。</p> <p>ご意見をふまえ、今後もしっかり進めてまいりたい。</p>
委員長	<p>(5) その他:令和4年度 行政改革推進委員会開催予定 それでは、議事(5)その他に移る。事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>【資料5に基づき説明】</p>
委員長	<p>ただいまの報告に対し、質問等はないか。</p> <p>せっかくの機会なので、感想などご発言をお願いしたい。</p>
委員	<p>市政のことで最近感じたこととして言うと、原油高の高騰で農業肥料の大幅な値上げが続く中、福井市が今年、「農業肥料購入緊急支援事業」を国や他市町に先駆けて実施した。これには、生産者からの喜びの声が聞こえている。農業離れの問題がある中、肥料の値上げが追い打ちになっていたところ、生産者にとって励みになる。</p> <p>財政再建に向けて大変だが、今後もきめの細かい、生活に密着した事業を実施いただけるとありがたい。</p>
委員	<p>ここ 2 年程で窓口対応がスムーズになった。DX が進むとあっという間に加速するように思う。わからない時には、窓口の職員が丁寧に説明してくれることで、高齢の方でもスマートフォンやパソコンで操作ができると思うので引き続きお願いしたい。</p>

委員	<p>KPI について、例えば「がんばる値」といった、やる気によって、この段階まではがんばりたいというような指標を KPI に加えても良いのではないか。例えば、目標値を 10%伸ばすとなると、従来の考え方を改良することで達成できることもあるが、50%伸ばすとなると全く新しいことを考えなければならない。そこで「がんばる値」が設定されれば、OJT ややる気にもなると考えるため取り入れてみてはいかがかと思う。</p> <p>また、今朝のニュースで気になったこととして、JR の踏切で目の不自由な方がはねられて亡くなった件で、JR が自治体に踏切を直すように言っていることを知った。自治体が事業をするとしても、踏切は JR 所有であるため、経費は JR が持つことになるのかと思っていた。そのあたり、いきなり福井市の踏切を福井市の予算で直すようにという話になることはあるのか。</p>
事務局	<p>踏切道は、鉄道と道路が交差する所。法律上、上下2つが重なる踏切道を改良しようとする場合、鉄道輸送が仕事である鉄道事業者の立場からは、踏切は、道路上管理者の都合で設置している、ということになる。</p> <p>そのため踏切道を改良したり拡幅したりする時には、道路管理者が費用を持つようにと、鉄道事業者は言ってこられる。</p> <p>今回のケースが同様であるのか詳細は不明だが、一般的にはそのようになる。</p>
委員	<p>中核市になったので、一番初めに声を上げ、中核市で意見をまとめて JR に持っていくことも最大の行政改革になるのではないか。</p>
委員長	<p>法律に基づいて発言をされているということもある。</p> <p>これから、並行在来線になっていく時には同じ議論や問題も出てくると思うので、また違った切り口で検討されていることだと思う。</p> <p>それでは、これをもって協議は終わりたいと思う。</p> <p style="text-align: right;">(11:20 終了)</p>